

古きを訪ねて新ひきを知る 8

文化財保護課 0224-6097

旧城下の鉤の手跡

市街地には、丁字路、曲がり角などが多いと感じたことはありませんか。これらは、城下町の町割(城を中心に、武家・商家・寺社などを計画的に配した区画割)の特徴です。

旧城下の川越街道沿い、大手町と松江町一丁目にある鉤の手跡も、その特徴を良く表している場所の一つです。鉤の手とは、ほぼ直角に曲がる道のこと。川越と江戸を結ぶ重要な交通路だった同街道では、敵が城内に攻め込みにくくするため、連続する折れ曲がり造られたと考えられます。この二か所の鉤の手は、元禄七年(二六九四)の城下絵図にも描かれています。

今では鉤の手部分が変わったり、斜めに車道が通ったりしていますが、その形はよく残されています。いつも何気なく通っている道路



にも城下町・川越の面影をたどることができます。



松江町1丁目



大手町

川越のブロッコリー

店頭などで一年中見かけるブロッコリー。秋から冬が旬の野菜です。作付面積・収穫量・出荷量において、全国でトップを争う埼玉県。市内でも、農家の皆さんが若い世代を含めた生産者



昨年からのブロッコリー栽培に挑戦している田口さん



農政課 0224-5939

組合を作り勉強会を開くなど、栽培に力を入れています。

「8月の暑い時期に苗を植えるので、その後の水やりと害虫対策が重要。特に今年の猛暑は、植えるのも水をやするのも大変でした。除草剤を使わない努力もしています」と田口一則



出荷の約2週間前。幾重もの葉に包まれています

さん(鴨田)。地場産ならではの新鮮な味わいや歯ごたえが楽しめるブロッコリーは、直売所などで買うことができます。

緑黄色野菜のブロッコリーは、栄養価が高く、香りや味にくせが無いので、和・洋・中さまざまな料理に合うのが特徴。ただ日持ちしないので、すぐに食べないときは硬めにゆで、小分けに冷凍保存しておくのが便利です。日々の食卓に取り入れて、生活習慣病や風邪に負けない体をつくりましょう。

編集後記

どんぐり

10月下旬、安比奈親水公園へ行きまし

た。野草園には、色とりどりのコスモスとマリーゴールドが咲いていました(表紙写真)。散歩したり、写真に撮ったり……。訪れた人は思い思いに、目の前に広がる秋を楽しんでいました。

テニスコートや野球場などのスポーツ施設がある同公園には、入間川の水を利用した水路や池があり、自然観察などができます。川のせせらぎを聞きながら、深呼吸。さわやかな空気が体を駆け抜けました。

観光地や商店街があるにぎやかな市街地と、自然あふれる郊外。両方味わえるのが、川越の魅力ではないでしょうか。

小江戸川越観光 キャッチフレーズ

とき

薫るまち

川越